

三次元情報活用による石庭設計手法の開発

技術分野分類

建築学 5802 建築環境

技術キーワード

日本建築史、日本庭園の研究と設計、博物館学、歴史的建造物の調査

産業分類

D 建設業

内 容	概 要	日本庭園の技法は、職人の高齢化や作庭需要の減少などにより、伝統技術の継承が危ぶまれています。伝統技術を継承するための手段のひとつとして、職人の勘や経験に基づいた技能と、CG、CADなどの情報システムとの融合を図ることを試み、臨済宗寺院の向嶽寺本山にある方丈前庭の枯山水庭園で、新しい設計法の適用を試みました。また、平安時代に書かれた「作庭記」以来の作庭に関する文献を調査し日本庭園の作庭技術の変遷を研究しています。	
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	「文化財の調査とその評価」 かつて、国立科学博物館で歴史的建築物の調査に従事した経験を活かし、歴史的建築物の実測調査や、文献調査を行い、文化財としての価値や保存方法に関する研究を進めています。近年は、文化財的価値のある建造物を単に指定・保存するだけではなく、その復元技術や活用方法などが重視されつつあります。また、文化財を地域の遺産としてとらえ、伝統的景観や関連施群などの文脈の中で捉える考え方が普及しつつあり、こうした考え方に基づく調査・研究や支援業務を行っています。	
	本技術の 有用性	「地域への支援」自治体からの委嘱により、地域の景観や文化財に関する助言や支援を行っています。これまで、名古屋城本丸御殿復元総合評価技術検討委員会、岐阜県文化財審議会、鎌倉市文化遺産比較研究委員会、岐阜市歴史的風致維持向上計画の総括評価に係る外部評価委員会、名古屋市広告・景観審議委員会などに参画しました。	
関連情報 (図・表・写真等)		 	
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	三浦 彩子 准教授 名城大学 理工学部 建築学科	
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター Tel. 052 (838) 2036 Fax. 052 (833) 7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp	

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2020 年 12 月 10 日